

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

南相馬市議会議長

会派名 無会派
代表者氏名 表 信司

調査研究報告書

- 1 期間 令和 6 年 1 1 月 1 2 日（火）～ 令和 6 年 1 1 月 1 4 日（木）
- 2 参加者表.....信司.....
.....
.....
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

別紙

調査研究内容

月日	令和 6 年 1 1 月 1 2 日（火）～ 令和 6 年 1 1 月 1 4 日（木）
旅行先	徳島県三好市、高知県香美市
調査研究事項	廃校の利活用について（徳島県三好市） 国際バカロレア教育について（高知県香美市）
〔 内容 〕	
1．廃校の利活用について	
1 1 月 1 2 日（火）15:00～16:30 徳島県三好市役所	
児童数の減少による休校数の増加や学校が無くなることによる地域活動の低下に対し、当時の市長のマニフェストに、休廃校の活用の推進が掲げられていたことから、休廃校の活用事業を推進するため、専任職員 1 名を増員。休廃校活用に向けた制度や仕組みづくりに取りかかる。活用に関する基本方針及び選定基準等の募集要項を策定した。 活用事例としては、（ 1 ）福祉関係施設、（ 2 ）製造工場、（ 3 ）地元農業団体生産拠点（ 4 ）地元団体による民宿経営等、（ 5 ）カフェ・デザイン事業所、（ 6 ）スクールコテージ・ラボ事業などが実施されている。廃校活用のメリットとして、事業者側には経常経費の支援（無償貸付）、好感度の向上（地域貢献）などがあり、市側には雇用創出、人口増、維持管理費用の負担減などが挙げられた。なにより地域の活性化につながっているとの説明を受け、南相馬市としても参考にすべきと思われる。	
2．国際バカロレア教育の活用について	
1 1 月 1 3 日（水）	
13:20～14:10 高知県香美市立大宮小学校にて授業風景参観	
14:10～15:10 高知県香美市立大宮小学校にて説明員とディスカッション	
国際バカロレア教育を導入し、探求の学びを基盤とする「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して、《自分らしく 自分で動き 探求する》を学校教育目標にしている学校らしく、子どもたちが生き生きと学習する姿を参観することができた。 ディスカッションでは、導入までの経過や課題のほかに、国際バカロレア教育を取り入れたことで市内の未導入の学校との学力・思考力の格差についてどのように均衡を保っていくべきかが導入後の課題であると感じたところである。	